

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

資料No.1-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
1	23	すこやか・ともしびまつり	「健康でふれあいのあるまちづくり」の実現のため、福祉施設や団体の活動紹介や作品・成果発表、参加体験コーナー等の実施を通し、広く市民に福祉と健康づくりの理解を呼びかけるイベントを開催	福祉総務課	【実績】 実行委員会にて実施 9月29日(土)、30日(日)実施 来場者数 18,500人 参加団体数 155団体 「ふれ愛コンサート」と同時開催 【評価】 参加団体・施設の交流と成果発表の場を提供することができた。また、アオーレ長岡で開催することで、幅広い層の関心を集めることができ、より多くの人の福祉意識を啓発できた。参加者は子供連れが増加し、実行委員会提案による子供向け体験コーナーの評価も高かった。
				健康課	
				社会福祉協議会	
2	23	ともしび運動ポスター展	小学3年生から中学生を対象に「ともしび運動」に関するポスターを募集 入賞作品はコミュニティセンターや学校等に巡回展示するとともに、ともしび運動リーフレットやポスターに活用	福祉総務課	【実績】 H19年度から支所地域にも募集 応募点数 小学生746点、中学生11点 学校やコミュニティセンター等14か所が入賞作品の巡回展示 【評価】 合計757点の応募があり、児童の福祉に対する理解と関心を高めることができた。
				社会福祉協議会	
3	23	ともしび運動リーフレット・ポスター作成	「ともに生きる社会」の啓発広報としてリーフレット及びポスターを作成・配布	福祉総務課	【実績】 リーフレット 9,500枚 ポスター 510枚 作成・配布 【評価】 市関係機関、学校、企業等に配布し、ともしび運動の普及・啓発に活用された。
				社会福祉協議会	

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
4	23	障害者理解促進講座	障害のある人に対する理解を深め、ともに生きる地域づくりを進めるための講座等を開催	福祉課	<p>【実績】</p> <p>障害者理解促進講座 検討会 1回開催 15名</p> <p>障害者理解促進講座 1回実施 20名</p> <p>【評価】</p> <p>地域共生社会の実現に向けて、地域の関係機関と連携しながら、地域住民への障害者理解の普及・啓発を促進していく。</p>
5	23	アール・ブリュット作品展	障害及び障害のある人の独創的な作品の展示を通じて、独自の感性や作者の日常・暮らしぶりを知ってもらうことで、障害や障害のある人への理解を深める機会を創出	福祉課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者アート作品を調査、発掘し、展示した。 ・まちなか6施設で25点の作品を常設展示した。 <p>【評価】</p> <p>今年度は障害者が搜索した作品を持ち寄るワークショップを開催し、他者からの評価・触発を受けることにより創作意欲の向上と併せ、アートや作者の視野の拡大につなげた。また、作品展示箇所を広げ、常設展示を実施。ドキュメンタリー映像の制作とあわせて、市民の障害者理解を一層深めるものとした。</p>
6	25	家庭教育活動事業	幼児の保護者を対象に開設する家庭教育講座の中で、福祉についてのテーマにも取り組む	保育課	<p>【実績】</p> <p>補助対象園 51園 (55回)</p> <p>【評価】</p> <p>子育ての大切なポイント等を講座を通して保護者に認識してもらうことで、意識の醸成につながっている。</p>
7	25	福祉読本の作成配付	児童の福祉に対する理解を深め、「思いやり、助けあい」の心を育成するために、小学3年生を対象とした福祉読本を作成・配付	福祉総務課 社会福祉協議会	<p>【実績】</p> <p>教師用 400冊 児童用 2,800冊 作成・配布</p> <p>8割以上の小学校が活用しており、児童が福祉に対する理解を深めるきっかけとなった。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
8	25	長岡市社会福祉協力校指定事業	小・中・高等学校及び総合支援学校を対象に体験学習の機会を提供することにより、福祉に対する理解と関心を高めるとともに「思いやりの心」を醸成	社会福祉協議会	<p>【実績】 小学校…56校 中学校…28校 特別支援学校…4校 高等学校…12校 高等専門学校…1校 壁新聞を年6回、実践集録を年1回発行した。</p> <p>【評価】 各校では、学校や地域の実態に即して福祉施設訪問や地域・学校の美化活動、世代間交流など、様々な福祉教育に取り組んでいる。小・中・高をとおり、発達段階に応じて意図的・計画的に福祉教育を実践することで、「おもいやりの心」が醸成されるとともに、「ともに生きる社会」の実現に向けた資質形成にもつながっている。</p>
9	25	福祉教育ライブラリー整備事業	特別支援教育や療育等福祉教育に関する書籍・ビデオ等を教育センター・視聴覚ライブラリーに整備し、有効活用	学校教育課	<p>【実績】（貸出状況） 視聴覚教材：16件 書籍：162件</p> <p>【評価】 特別支援教育や福祉教育に関する視聴覚教材（1本）及び書籍（36冊）を整備するとともに、それらの視聴覚教材や書籍についての広報を行い、教職員等に貸し出すなど有効活用を図った。</p>
10	29	乳幼児健康診査事業	乳幼児期の各節目にすこやかな成長の確認と異常の早期発見・早期治療を図るとともに、基本的生活習慣の確立に向けて育児相談を実施し子育てを支援	子ども家庭課	<p>乳幼児健康診査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4か月児健診 1,835人 ・5～7か月児乳児健康相談 1,778人 ・10か月児健診 1,778人 ・3歳児健診 1,979人

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
11	29	健康診査事業及び後期高齢者健康診査事業	19～39歳及び後期高齢者を対象に、生活習慣病の早期発見を目指した健康診査を実施し、循環器疾患や糖尿病等に起因する障害状態になることを予防	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康診査 (19～39歳及び生活保護被保護者) 受診者数1,646人 受診率9.0% 後期高齢者健診 (後期高齢者医療制度加入者) 受診者数12,859人 受診率31.1% <p>【評価】</p> <p>生活保護被保護者の受診率は横ばいであるが、19～39歳は減少している。後期高齢者健診も対象者は増加傾向にあるが、受診者数・受診率ともに減少している。引き続き啓発や受診環境整備をして受診者をより増やしていく必要がある。</p>
12	29	特定健診・特定保健指導等事業	40歳から74歳の医療保険加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導に取り組み、糖尿病等生活習慣病の有病者・予備群の減少を目指し、疾病に起因する障害状態を予防	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診 (40～74歳国保加入者) 受診者数15,855人 受診率33.9% 特定保健指導 (40～74歳国保加入者) 動機付け支援 利用者数 302人 利用率 26.9% 積極的支援 利用者数 51人 利用率 21.8% <p>【評価】</p> <p>特定健診は、受診率がほぼ横ばいである。継続した啓発や受診環境整備をして受診者を今後も増やす必要がある。特定保健指導の利用率は増加したが、引き続き利用率向上対策を講じる必要がある。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
13	29	保健指導 健康教育 健康相談 訪問指導	市民を対象に保健指導を実施 ・健康教室を開催 ・個別に健康についての相談実施 ・健診受診者で医療機関に受診が必要な人への受診勧奨など	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康教育 開催回数514回 延人数 14,862人 ●健康相談 <ul style="list-style-type: none"> ①重点健康相談 開催回数 27回 相談延人員 237人 ②総合健康相談 開催回数 139回 相談延人員 1031人 ●訪問指導 訪問指導人数2,251人 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育では、生活習慣病予防のため自ら健康づくりができるように教育を行った。 ・健康相談では、健診結果や健康に関する悩みや心配ごとを解消することができた。 ・訪問指導では、おもに健診結果が要受診の人、特定保健指導未利用者、糖尿病性腎症の人、生活習慣病治療中断者について、受診勧奨や生活習慣の改善ができるよう支援を行った。
14	29	こころの健康づくり講演会 こころの健康づくり講座	ストレス・うつ病・アルコール依存症・自殺予防等こころの健康づくりに関する全市的講演会及び地域単位での講座の開催	健康課 健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○こころの健康づくり講演会 開催回数 3回 参加人数 301人 ○こころの健康づくり講座 開催回数 15回 参加人数 370人 <p>【評価】</p> <p>こころの不調や自殺への偏見をなくし、こころの健康に関心を持ち、うつ病等疾患の正しい知識や対処方法を知る機会となった。引き続き、メンタルヘルスの保持増進及びこころの不調や障害のある人に対する理解の促進、地域共生社会を実現するため、地域の実情に合わせ実施していく。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
15	29	こころの健康相談 ※「整理番号17 健康相談の実施 福祉課」と統合する。福祉課障害支援係と協議済	こころの不調、アルコール依存やうつ状態等悩みや生きづらさを抱えている人に対し、臨床心理士・保健師等が窓口・電話相談や個別相談会を実施するもの	健康課	<p>【実績】</p> <p>○来所・電話相談 延2,153件</p> <p>○こころの健康相談会 開催回数58回 延101人</p> <p>【評価】</p> <p>来所・電話相談、個別相談会の実施、要フォロー者支援により、こころの不調や悩み心配事の軽減ができ、必要な治療や専門相談機関につながった。</p>
16	31	精神障害者医療費助成	精神疾患の治療について、医療費自己負担の一部を助成	福祉課	<p>【実績】</p> <p>受給者数 3,172人</p> <p>申請件数 32,595件</p> <p>助成額 65,220千円</p> <p>【評価】</p> <p>受給者数の増加に伴い、通院の助成については申請件数、助成金額ともに増加している。入院については、申請件数、助成額金額ともに大きな増減なし。</p>
17	35	こども発達相談室の充実	早期相談体制の充実、関係機関との連携	子ども家庭課	<p>【実績】</p> <p>相談延人数 2,426人</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より丁寧な相談対応を行うため、初回相談専用日を設定したことによって親子遊びの延べ参加者数が減少したが、相談機関としての機能は強化することができた。さらに、より気軽に相談できる場として子育ての駅等で出前相談会を実施することで、保護者が早期から相談しやすい体制の整備を図ることができた。 ・職場内研修の実施や、主任保育士の新規配置による指導・助言体制の整備など、職場内の対応力向上を図る取組みを行うことができた。 ・就学時健診後の相談の流れについて、学校教育課や学務課とともに見直しを行い、よりスムーズな相談対応を行うことができた。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
18	35	療育体制の整備	長岡市障害者自立支援協議会及び長岡市子ども・子育て会議の積極的な活用	福祉課	【実績】 ○長岡市障害者自立支援協議会 全体会 2回開催 運営会議 9回開催 相談体制部会 8回開催 ワーキング(計画相談) 5回開催 【評価】 協議会の各会議の中で、福祉分野と子育て分野の情報共有を実施したほか、療育も含めて適切な機関や福祉サービスにつなげるための相談支援体制について検討を行った。 子ども・子育て会議においては、平成29年度に引き続き就学前児童の療育に関するワーキングを開催し、課題分析の結果から提案された事業を全て実施することができた。
				子ども家庭課	
19	35	特別な支援が必要な子どものサービスの充実	居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業の利用促進	福祉課	【実績】 居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業を継続して実施。 【評価】 居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業ともに利用実績は前年度並みである。
			児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援、障害児相談支援の利用促進	子ども家庭課	

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
20	35	障害児保育の充実	保育園の入園を希望する特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制の整備	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、認定こども園への補助 特別児童扶養手当認定児童分 11人 6,612,230円 軽度障害児分 33人 14,181,130円 <p>【評価】</p> <p>保育園、認定こども園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>
21	35	私立幼稚園障害児教育費補助事業	幼稚園における特別な支援が必要な子どもの受け入れの推進	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園への補助 2園 784,000円 <p>【評価】</p> <p>幼稚園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>
22	35	こどもすこやか応援事業	配慮を要する児童を早期に発見し、児童・保護者のニーズに応じた就学前から就学後まで一貫した相談・支援の実施	子ども家庭課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援児童数 175人 ・すこやかファイル新規作成件数 93件 ・すこやかファイル年長児所持者数 108件 <p>【評価】</p> <p>保育園等と連携し配慮を要する児童への適切な対応について支援を行った。学校と情報を共有することでスムーズな就学への移行が行われた。</p>
23	38	特別支援学級教育環境整備事業	特別な教育ニーズに合わせた設備の整備及び教育の改良	教育施設課	<p>【実績】</p> <p>小学校6校及び中学校3校実施 (特別支援教室施設設備改修等)</p> <p>【評価】</p> <p>特別支援学級の教育環境の充実を図ることができた。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
24	38	肢体不自由特別支援学級設置校の移動設備整備	肢体不自由児童・生徒の移動のための設備の整備	教育総務課	【実績】 階段昇降機の保有台数2校3台に対し、利用台数は小学校1校1台であった。 【評価】 保有台数が利用台数を満たしていたので、階段昇降機を必要とする児童に適切な支援を行うことができた。
25	38	長岡市立総合支援学校・高等総合支援学校放課後サポート事業	平日の授業終了後及び長期休業日に、総合支援学校の施設を利用して同校に在籍している児童・生徒の一時預かり	福祉課	【実績】 支援学校在籍の児童・生徒を対象に平日の放課後及び長期休業日の日中の一時預かりを実施。 実施日数 233日、延べ利用者数 2,208人 【評価】 重度の障害児が増えていることもあり、マンツーマン対応等の必要性が高まっている。
26	41	障害者雇用促進事業	就労支援推進員が、施設・企業を訪問し、障害者一人ひとりの特性に合わせた企業とのマッチングを支援するとともに、企業に対して障害者雇用の促進を周知、啓発	産業支援課	【実績】 訪問90社（うち支援機関へ連携30社） 【評価】 企業に出向き話を聴くことで、適当な支援機関へ連携ができ、企業のニーズに合った障害者就労の支援ができた。
27	41	長岡市障害者多数雇用事業者からの物品等の調達制度	市が物品購入や役務の提供などを契約する場合、障害者多数雇用事業者として登録されている事業者から積極的に調達	産業支援課	【実績】 登録事業者数 8社 【評価】 登録事業者は昨年同数。利用額はやや増加した。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
28	41	障害者雇用促進職場体験実習等受入事業	一般企業等への就労を目指す就労移行支援・就労継続支援施設利用者や障害者就業・生活支援センター登録者、高等総合支援学校の生徒を対象に事務作業や職業生活で求められるルールやマナーを体験実習する場を長岡市役所福祉課内に提供し、職業能力や社会性の向上を支援	福祉課	<p>【実績】</p> <p>市役所実習を希望するもので以下のいずれかに該当するものを対象に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の就労支援施設利用者 ・市内に住所を有する障がい者就業・生活支援センター登録者（手帳を所持していない発達障害者を含む） ・長岡市立高等総合支援学校生徒 <p>実施日数117日、延べ利用者数27人</p> <p>【評価】</p> <p>実習生に自らの課題点等に取り組み、事業所に戻ってからも継続して行うことにより、就労に向け前進してもらっている。実習方法を随時見直しながら事業を継続する。</p>
29	41	企業実習支援事業	職場体験実習の次のステップとして、障害のある人が企業実習をする際に、ジョブサポーター（実習を受け入れた企業に出向き、直接指導を行う者）を派遣してそのスキルアップを図るとともに、障害者雇用促進法の改正等による障害者雇用義務の強化への対応を迫られる企業に対して間接的に支援	福祉課	<p>【実績】</p> <p>実習先企業等 40件 実利用者 33件</p> <p>【評価】</p> <p>新たな実習先の利用を提案するなどニーズにマッチした実習機会を提供できるようにし、引き続き雇用促進職場体験等受入事業の利用者の次の目標となる事業として位置付けていく。</p>
			障害者相談支援センターによる相談の充実	福祉課	<p>【実績】</p> <p>障害者相談支援事業所 6事業所（7箇所） （相談支援専門員 11人、サポート職員 7人）</p> <p>【評価】</p> <p>今後も市域全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
30	43	相談サービスの充実	障害者基幹相談支援センターによる人材育成・相談支援専門員等へのサポート	福祉課	<p>【実績】 相談支援研修会 3回開催 事例検討会 5回開催 相談支援専門員等へのサポート 546回実施</p> <p>【評価】 相談支援従事者のキャリアパスに基づいた研修会を開催したほか、対応困難事例に関わっている相談支援専門員等のサポートを行った。</p>
			「長岡市障害者自立支援協議会」の積極的な活用（相談支援体制の検討・評価）	福祉課	<p>【実績】 全体会 2回開催 運営会議 9回開催 相談体制部会 8回開催 相談支援部会 8回開催 ワーキング（計画相談）5回開催</p> <p>【評価】 障害者相談支援事業の地区担当制導入に向けた課題や、相談支援体制のあり方等について検討を行った。</p>
31	43	福祉窓口の充実	手続・申請内容の拡充	福祉課	<p>【実績】 H31年3月約360メニュー</p> <p>【評価】 対応件数は年々増加傾向にある。加えて内容が複合・多様化しており、慎重で丁寧な対応を必要とする事例が多い。各種業務の制度拡充等や対応方法についての確認等を行い受付体制を整えている。</p>
32	48	地域福祉・在宅福祉サービス事業（ボランティア銀行）	サービスを必要とする人を「利用会員」、サービスを提供する人を「協力会員」として活動する住民相互の助け合いの事業	社会福祉協議会	<p>【実績】 延べ利用者数：663人、総利用回数：2,156回</p> <p>【評価】 地域住民相互の支え合いにより、買い物代行などの生活支援を実施。活動を通じた助け合いの輪が広がっている。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
33	48	福祉送迎サービス事業	単独での移動が困難な高齢者や障害のある人等を対象に、医療機関へ自家用車による通院送迎を行う事業	社会福祉協議会	【実績】 延べ利用者数：2,509人、年間総利用回数：2,591回 【評価】 住民同士の支えあい活動として、高齢者や障害者の通院送迎が展開された。
34	48	小地域ネットワークづくり事業	おおむね75歳以上のひとり暮らし高齢者等で援助が必要と思われる人に対し、地域内の住民による定期的な訪問、声かけ等で見守りを行う事業	社会福祉協議会	【実績】 利用世帯数：460世帯 【評価】 訪問や見守りから「互いに気に掛ける」ということが地域に広がっており、課題の早期発見につながっている。
35	50	ボランティア大学 ・基礎講座 ・公開講座講演会 ・介護講座 ・初心者講座 ・傾聴講座	ボランティア活動への意識啓発及び基礎的知識、技能の習得並びに、市民の意識高揚の推進	社会福祉協議会	【実績】 ○ボランティア大学基礎講座 開催回数13回、参加者数37人 ○公開講座講演会 開催回数1回 参加者303人 ○介護講座 開催回数4回、参加者数13人 ○初心者（フォローアップ）講座 開催回数22回、参加者数41人（内訳） ・点訳：8回、参加者数5人 ・要約筆記：4回、参加者数2人 ・音声訳：8回、参加者数5人 ・手話：6回、参加者数18人 ○傾聴講座 開催回数6回、参加者数66人 【評価】 様々な角度からボランティア活動の基礎的な知識、技能を学ぶことで、福祉ボランティアに対する理解、実践力が深まるとともに、活動の幅が広がっている。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
36	50	運転ボランティアの参加啓発活動	福祉に貢献したい人たちに幅広い活動への意識醸成を図り、運転ボランティアにも目を向けてもらうための啓発を推進	福祉課	社会福祉協議会においては、ボランティア大学を通じた活動や社協だよりへの記事の掲載などにより、啓発を実施している。(福祉課においては、運転ボランティアの協力により、重度身体障害者移動支援事業(ハート・カーの運行)を実施)
				社会福祉協議会	
37	50	ボランティアセンターの運営	総合的なボランティア情報の収集に努め、積極的に発信することで、ボランティアのマッチングを推進	福祉総務課	【実績】 相談件数：1,102件 【評価】 ボランティア推進に関する情報収集に努め、幅広く情報提供、相談対応することで、相談件数も増加している。
				社会福祉協議会	
			福祉総務課	【実績】 ○夏休み！おもちゃドクター親子体験講座 開催回数：1回、9組・18名 ○高校生ボランティア講座 開催回数：1回、9名 ○地域のスター養成講座紙芝居講座 開催回数：4回、17名 ○地域のスター養成講座マジック初心者講座 開催回数：4回、20名 ○1 day講座 開催回数：2回、7名 ○ボランティアフォーラム 開催回数：1回、85人 【評価】 幅広い世代の方々がボランティアに触れるきっかけとなり、市民のボランティアによる自己実現や社会参加の意欲が高まった。	
社会福祉協議会					

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
38	53	意思疎通支援者の派遣	手話奉仕員の養成と手話・要約筆記通訳者等の派遣の実施	福祉課	<p>【実績】 手話通訳 744人 要約筆記 35人</p> <p>【評価】 引き続き、手話・要約筆記による意思疎通支援を図っていく。</p>
39	53	手話通訳者の福祉窓口への配置	市役所における手話通訳者の常時配置	福祉課	<p>【実績】 設置日数244日 来庁者数560人</p> <p>【評価】 H30年4月から手話通訳員の設置が2人から1人体制となっているが、2人体制となるよう引き続き努めていく。</p>
40	53	声の広報等発行事業	市政だより等の文書の概要を録音し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績】 ・障害者ハンドブック「ともに生きる」の音声コード化と音声訳データでの情報提供を実施した。 ・声の市政だよりの送付を行っている(H30送付対象者 69世帯)。</p> <p>【評価】 引き続き、音声による情報提供を図っていく。</p>
41	53	点字広報等発行事業	市が発送する通知分等を点訳し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績】 市政だよりと同時に配布される文書について点訳を行い対象者に送付した(H30送付対象者 11世帯)。</p> <p>【評価】 引き続き、点字による情報提供を図っていく。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
42	55	ハンディスポーツ・レクリエーション講習会	障害者スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため開催	福祉課	<p>【実績】 9月19日、26日に開催 参加者数 15人(延べ人数24人) 地域や施設などでの障害者スポーツの普及、人材育成を目的として実施した。</p> <p>【評価】 前年度より参加者数が増加し、障害者スポーツの普及が進んでいると考えられる。今後も継続して行っていく。</p>
43	55	ふれ愛スポーツのつどい	障害のある人の社会参加と、市民の障害への理解促進を図るため、障害の有無にかかわらず誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベント「ふれ愛スポーツのつどい」を開催	福祉課	<p>【実績】 11月3日に開催 参加者数 22人</p> <p>【評価】 参加者(ボランティア等は除く)は前年度と比べて減少したが、内容は今までより専門性が高く、効果は高いと考えられるため、今後も継続して行っていく。</p>
44	55	障害児者のための水泳教室・ハンディテニススクール	障害のある人の身体機能の向上を図るため、水泳・テニスの教室を開催	福祉課	<p>【実績】 水泳教室 6～7月の連続した週の土曜日に計5回開催。 参加者数 18人(延べ人数70人)</p> <p>ハンディテニス 10～11月の連続した週の水曜日に計5回開催。 参加者数 20人(延べ人数81人)</p> <p>【評価】 年々参加者は増加しており、参加者及びその保護者からも好評である。健康増進や社会参加の機会として、今後も引き続き実施していく。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
45	55	ながおかポニーカーニバル	ポニーとのふれあいによる青少年の健全育成及び障害のある人とない人の交流の促進並びに乗馬による障害のある人の機能向上の機会の提供	青少年育成課	<p>【実績】 開催日 9月30日 来場者数 約1,500人</p> <p>【評価】 台風の影響のため、午前中だけの開催となったが、高校生・専門学校生・大学生などのボランティアの協力により、障害のあるなしに関わらず、多くの市民がポニーとのふれあいや乗馬など体験することができた。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
46	55	障害者スポーツ競技力向上事業	障害者スポーツの活性化と競技水準の向上のため、全国に通じる選手の育成	スポーツ振興課	<p>【実績】</p> <p>障害者スポーツの競技力向上及び普及・啓発のため、長岡聾学校、総合高等支援学校に指導者を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡聾学校（卓球の部活動に20回派遣） ・市総合高等支援学校（授業に15回派遣） <p>【評価】</p> <p>障害をもつ子どもにスポーツの楽しさに触れる機会や専門的な指導を受けられる場を提供でき、継続的なスポーツ実施への意識づけが行えたことで、障害者スポーツの底辺拡大に寄与できた。</p>
47	55	長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会(仮称)の設立	市民との協働による長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会設立の検討	スポーツ振興課	<p>【実績】</p> <p>協会の設立を視野に、その土台づくりの一環として、県障害者スポーツ協会や市内企業と連携し、パラアスリートなどによるトークイベント、様々なパラスポーツが体験できるイベントを開催した。</p> <p>「パラスポひろばinアオーレ」</p> <p>3月10日（日） 参加者 300人</p> <p>○トークイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツの魅力を長岡から世界へ ・パラアスリートが語る～パラスポーツって～ <p>○パラスポーツ体験等</p> <p>車いすバスケ、ボッチャ、ゴールボール、ブラインドサッカー、フライングディスク、卓球バレー等</p> <p>【評価】</p> <p>障害のある人がスポーツに親しめる機会、および市民の障がい者スポーツに対する理解を深めるきっかけを提供することができた。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
48	56	ふれ愛コンサート	コンサートを通して、障害のある人とな い人の「ふれあい」の場を提供し、障害 のある人の音楽文化の向上と社会参加を 実現	福祉課 社会福祉協議会	「すこやか・ともしびまつり」と同時開催 【評価】 今年度は昨年に比べ、来場者数が減少したが、観客 のみなさんで曲に合わせて手拍子をしたり振りを真 似してみたり、楽しんでいる様子が見受けられ、世 代や地域を越えた交流の場とすることができた。ま た、実行委員やボランティアが連携し、無事時間通 りに終えることができた。 来年度以降もコンサートの周知及びスタッフの確保 努めるとともに、人のつながりを大切にしながら、 長く愛されるイベントへ作り上げていきたい。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
49	60	市有施設の新設整備	建築設計基準に基づいた障害のある人や高齢者に配慮した市有施設の整備	各課施設	施設的设计時に配慮して整備
50	60	既存市有施設の改善	優先度が高い箇所から順次バリアフリー化に取り組む	各課施設	施設的设计時に配慮して整備
51	60	町内公民館の施設改造費の補助	町内会が障害のある人や高齢者の利用を考慮して行う既存の公民館、集会所の機能・設備の改造に要する経費の一部補助	市民協働課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内公民館のトイレの洋式化等の改造に要する経費の一部補助を行った。 H30年度交付件数 7件 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内公民館等の利便性が向上した。
52	60	公園の新設整備 既存公園の改善	<p>障害のある人の利用に配慮した公園の新設整備</p> <p>障害のある人への配慮が不十分な既存公園を更新計画時に併せて改善</p>	公園緑地課	<p>【実績】</p> <p>ニュータウン運動公園に、身障者等が利用できるトイレ及び身障者等専用駐車スペースを新設した。開発行為で新設した花園南みはらし公園、花園南うんどう公園、花園南わんぱく公園に障害者に配慮した水飲み場を設置した。</p> <p>【評価】</p> <p>多くの市民が公園を利用することが可能になった。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
53	61	住宅改造費の補助	個々の障害に対応した住宅の改造費補助	福祉課 介護保険課	【実績】 福祉課 住宅改造費助成件数2件 介護保険課 住宅改造費助成件数44件 【評価】 障害者及び高齢者の自立を支援するとともに、快適で安全な生活環境の改善を目的として引き続き実施していく。
54	64	バス停上屋の整備	公共公益施設等の周辺や乗り継ぎ拠点などの利用者の多いバス停の上屋整備 バス停の快適性、安全性を向上させるための上屋等の整備促進	交通政策課	【実績】 上屋設置補助金交付件数 2件 【評価】 町内会から申請のあった2箇所に対して補助金を交付し、バス待ち環境の改善が図られた。
55	64	循環バスの運行	利用者の多い公共施設等と駅を結ぶ循環バスの運行	交通政策課	【実績】 中央循環バス・・・内回り22便、外回り22便運行 宮内環状バス・・・内回り4便、外回り4便運行(土・日・祝日はそれぞれ3便減) 宮内・川崎環状バス・・・内回り2便、外回り2便運行 【評価】 立川総合病院の移転に伴い運行経路を病院経由に変更し、利用者の利便性を向上させた。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
56	64	バス車両の改善	障害のある人、高齢者等が利用しやすいバス車両の導入促進	交通政策課	<p>【実績】 低床バス導入台数 3台（内、市補助0台、交通事業者購入3台） 年度末現在：長岡駅乗入台数180台中89台が低床バス（49.4%）</p> <p>【評価】 「長岡市交通バリアフリー基本構想」に基づき、長岡駅乗入台数の20～25%を低床化バスとするバリアフリー化整備目標が既に達成され、さらに増加している。</p>
57	64	歩行者優先道路の整備	障害のある人、高齢者等にやさしい道路として、車の進入を規制し、カラー舗装やベンチ、植栽等を整備した歩行者優先道路の整備	道路建設課	<p>【実績】 自転車歩行者専用道路整備 L=89.2m W=4.0m</p> <p>【評価】 計画的に整備している。</p>
58	64	バリアフリー化した歩道整備	障害のある人、高齢者等歩行者の安全確保を図るためのネットワーク化した歩道整備	道路建設課	H22年度で事業は終了しているが、歩道整備の必要性があれば対応する。
59	67	避難支援プランの推進	避難行動要支援者避難支援プランに基づく個々の避難行動要支援者に対する具体的な支援体制の推進 ・避難行動要支援者名簿の作成 ・町内会、自主防災会、民生委員・児童委員、地区福祉会等地域の関係機関等との情報の共有	福祉総務課	H30年度避難行動要支援者名簿を作成し、地域の関係機関等と情報共有をした。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
60	67	緊急告知FMラジオの配備	緊急時には自動的に電源が入り、避難情報等を伝達できる緊急告知FMラジオを町内会、民生委員・児童委員、福祉施設、避難行動要支援者等へ配備	危機管理防災本部	<p>【実績】 希望があった避難行動要支援者（名簿登録者）、視覚障害者に対して、ラジオを貸与した。（新規貸与数 165台） また、市が貸与したラジオの故障や不具合に対する交換対応等を実施した。</p> <p>【評価】 町内会や避難行動要支援者等に対して、避難情報など災害時の情報伝達が可能となった。</p>
61	67	地域防災力の強化推進	「市民防災のしおり」、「洪水ハザードマップ」、「自主防災会結成と活動の手引き」等の配布や中越市民防災安全士の養成等による地域防災力強化の推進	危機管理防災本部	<p>【実績】 転入者に対して「長岡市の避難所」等の冊子を配布し、また、出前講座等の際に「洪水ハザードマップ」等、防災に関する資料を配布すること等により、防災意識の高揚を図った。 自主防災会結成率 91.63%、中越市民防災安全士 638人（平成31年4月1日現在）</p> <p>【評価】 住民の防災意識が高まり、地域防災力の向上につながった。</p>
62	67	中越市民防災安全大学	地域の防災リーダーの養成と防災安全知識の修得を目的に平成18年度に開講	危機管理防災本部	<p>【実績】 8月下旬から9月上旬までの5日間に20講座を開催し、54名が中越市民防災安全士として認定された。</p> <p>【評価】 地域の防災リーダーが育成され、地域防災力の向上につながった。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画 平成30年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	H30年度実績等説明及び評価
63	67	高機能消防指令センターの充実	一般電話により高齢者、障害のある人等からの119番の通報場所が即時に判明でき、最も近い消防部隊を自動的に編成し、出動させるとともに、現場の地図及び避難行動要支援者の情報を把握	消防本部警防課	<p>【実績】 119番通報が無言でも、通報場所に消防車及び救急車を出動させている。</p> <p>【評価】 指令地図に通報場所のほか、避難行動要支援者情報を表示することで、対象者への災害対応がより迅速になった。</p>
64	67	木造住宅耐震診断費助成	木造住宅に対する耐震診断費の助成	都市開発課	<p>【実績】 H30年度実績は13件であった。出前講座、市政日より、総合防災訓練、リフォームフェア参加、ダイレクトメールの送付など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 H29年度に比べ件数が増加したので、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>
65	67	木造住宅耐震改修費助成	木造住宅の耐震改修工事費の助成	都市開発課	<p>【実績】 H30年度実績は5件であった。出前講座、市政日より、総合防災訓練、リフォームフェア参加、ダイレクトメールの送付など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 H29年度に比べ件数が増加したので、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>
66	67	木造住宅耐震改修設計及び工事監理費助成	木造住宅の耐震改修設計及び工事監理費の助成	都市開発課	<p>【実績】 H30年度実績は5件であった。出前講座、市政日より、総合防災訓練、リフォームフェア参加、ダイレクトメールの送付など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 H29年度に比べ件数が増加したので、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>